

# 第2回 テーマ企画展について

きっかけは他大学から『自動車技術會報』<1947(昭和22年)>の文献複写依頼

調べてみると

- ① 当時8社の電気自動車製造(開発)会社が存在していた。
- ② 日本政府(商工省、現在の経済産業省)は電気自動車の普及を図り、交通網の整備を構想していた。
- ③ 1947年(昭和22年)、東京電気自動車(府中市)は、2ドアセダン・4人乗りの電気自動車『たま』号を完成した。



出典：日産ヘリテージコレクション

※改良型『たま』号の性能：最高速度55km/h、一回の充電による走行距離は200km

- ④ 1949(昭和24)年、日本の電気自動車普及台数は3,299台(全体の約3%)だった。
- ⑤ 1955(昭和30)年、道路運送車両法から電気自動車の項目が削除され、電気自動車が街頭から忽然と姿を消した。

そこで…

## 令和5年度テーマ企画展

### 「図書館資料から紐解く我が国電気自動車開発の歴史」

#### 第1部 「1940年代 日本の電気自動車開発、それは『たま』から始まった」

令和5年7/23(日)～9/15(金)

#### 第2部 「忽然と街頭から姿を消す電気自動車、一体何があったのか？」

令和5年11月下旬から開催予定

#### 第3部 「環境問題やSDGsで、再び脚光を浴びる電気自動車」

令和6年2月中旬から開催予定

#### Point 1

高い技術力と技能を有する  
日本の技術者が戦後の混乱期に  
高性能の電気自動車を  
開発していた事実

#### Point 2

高性能の電気自動車が  
10年ほどの期間で街頭から  
忽然と姿を消してしまった理由

#### Point 3

科学・技術の継承や  
技能の伝承の重要性

#### 【展示物の紹介】

- 1 職業大図書館所蔵図書
  - ・『自動車技術』第1巻(1947)～第5巻(1951)
  - ・その他関連する図書、雑誌
- 2 Webサイト情報
  - ・日産自動車ホームページ
  - ・日本の自動車技術330選(JSAE)
  - ・疾走する『たま』号(YouTube動画)
- 3 展示パネル

多くの皆さまに地域とその歴史を知ることの  
楽しさ、興味・関心を持つことの喜びを  
体感していただきたいと思います。  
ぜひ、職業大図書館にお出かけください。  
皆さまのお越しをお待ちしています。



職業能力開発総合大学校  
POLYTECHNIC UNIVERSITY (PTU)